

まちと人の想いが交わる情報交差点

佐 甲 報 広

11 November 2024
No.664

【特集】

甲佐蚤の市

ザ・ファイナル!



芸術の秋到来!

「産業文化祭へ向けて」クラブ活動紹介

広報こうさ R6.11

CONTENTS

- 02 目次／人のうごき
- 03 甲佐高校生インターンシップ
- 04 甲佐蚤の市ザ・ファイナル
- 06 「芸術の秋」到来 産業文化祭へ向けて
- 08 こうさの話題
- 10 健康だより／甲佐町フィットネスセンター
- 11 スマイル／休日当番医／子育てカレンダー
- 12 図書室へ行こう
- 13 文化財探訪／人権
- 14 甲佐のまちづくり／甲佐高校通信
- 15 甲佐町イベントカレンダー
- 16 町からのお知らせ
- 18 暮らしの情報
- 22 うたごよみ
- 23 甲佐の野菜で作ってみよう！
- 24 Kosa Style 伊藤二實男さん

—— 表紙の写真 ——



10月6日（日）甲佐蚤の市ザ・ファイナルが開催されました。商店街一帯に所狭しと並んだ出店とたくさんの来場者で、会場は大盛況となりました。これまで、蚤の市を開催するにあたって尽力された商工会の方々や各関係者のみなさま、本当におつかれさまでした。

🌱 町からの情報をお届けしています 🌱



メールアプリ



ウェブサイト



instagram



メールアプリ「こうさ情報たしかめーる」の登録をお忘れなく！



facebook



X(旧 twitter)

🌱 人のうごき（9月30日現在） 🌱

総人口

9,960人 男 4,798人／女 5,162人

前月比

-29人

男 -14／女 -15

○出生 3人
○転入 9人

○死亡 20人
○転出 20人

総世帯数

4,426世帯

前月比 -12



9月10日（火）～12日（木）甲佐高校生の3人が町地域振興課にインターンシップ（職場体験）に訪れ、役場の仕事を体験しました。

▲商工会で話を聞く生徒たち

9月10日（火）から12日（木）までの3日間、役場では熊本県立甲佐高等学校2年生の生徒3名（松本さん、西田さん、西島さん）を対象にインターンシップを受け入れました。町地域振興課を中心に、高校生たちは役場の業務を体験し、地域の魅力化に向けた取り組みを学びました。

1日目は、役場内の見学と各課の業務説明が行われ、役場のホームページやパンフレットを使って役場の取り組みを学習。さらに、生徒たちは自らの高校である甲佐高校の魅力や課題についてグループディスカッションを行い、高校生ならではの視点を共有しました。

2日目には、広報誌の制作体験や他地域の地域振興活動の調査が行われました。生徒たちは、役場の若手職員にインタビューし、実務について学びつつ、自分たちで広報誌に掲載する記事の構成を考えました。

最終日には、甲佐町商工会による業務紹介や地域資源の観察を通じて、地域の魅力化についてのアイデアを生徒たちが出し合い、最後に高校生らしい新鮮で柔軟な発想をもとに提案しました。今回のインターンシップをきっかけに、甲佐高校生の若い力が町の活性化に影響を与えてくれることを期待しています。

高校生ならではの視点で地域の魅力化を提案



▲3日間おつかれさまでした！



▲町内の飲食店を訪問する生徒たち



▲町の魅力化を考えアイデアを出す生徒たち



「甲佐蚤の市 ザ・ファイナル」

10月6日(日)。甲佐町が全国で最も高い最高気温を記録したこの日、最後の「甲佐蚤の市」に2万人を超える人が来場しました。今回で実質10回目を迎えたこのイベントは、人口減少による町の空き家や空き店舗の増加を食い止めようと、甲佐町商工会主催で始められました。

商店街には100店舗を超える出店が並び、ステージイベントや教会でのコンサート、落語など、多彩な催し物が会場全体を盛り上げました。

途中、熊本県の木村知事も駆け付け、「副知事の時代から何度も訪れている甲佐町。蚤の市は終わってしまいましたが、今日は新しい甲佐町への第一歩となる日ですね」と、温かい激励の言葉を述べられました。

秋とは思えないほどの暑さの中、来場客も出店者も汗をかきながら全力でこのイベントを楽しんでいる様子でした。特に印象的だったのは、写真を撮るたびに「終わってしまうのが勿体ない」「甲佐町で何かイベントがあれば、ぜひまた来たい」と多くの人が言っていたことです。

初開催から12年が経ち、蚤の市をきっかけに商店街への出店も増え、町を訪れた人々から「甲佐町って良いね」という声をよく耳にするようになりました。

「当時、私が挑戦させてもらえたように、新たなイベントができればと思っています」という実行委員長挨拶で、甲佐蚤の市は幕を閉じました。



「芸術の秋」到来

甲佐町の文化クラブの皆さんが、11月に行われる産業文化祭に向け準備を進めています。

今回は公民館自主講座などで活動されているクラブ活動の一部をご紹介します。

芸術の秋、文化の秋、スポーツの秋。この秋に皆さんも何か始めてみませんか？

公民館 自主講座	パッチワーク	水彩画	ビーズアクセサリー	木工
料理	相撲甚句	短歌	書道	朗読
ペン字	英会話	オカリナ	大正琴	コーラス
アコースティックギター	社交ダンス	太極拳	ストレッチヨガ	キッズダンス
3B体操	フラダンス	レクリエーションダンス	ポハイクエアロハ・フラミナミ	ひまわりダンス



各講座へのお問い合わせは

甲佐町教育委員会
社会教育課 社会教育係 まで

096-234-2447

音楽

ライリッシュ オカリナ

講師：境 貴子さん

音楽未経験者のかたも大歓迎♪

オカリナは一人でも吹けると楽しいですが、皆で一緒にアンサンブルを揃える時はさらに楽しくとても気持ち良いです。4月の発表会や、地域の敬老会でも演奏を行っています。文化祭では3曲を披露する予定です、お楽しみに♪

場所 糸田・津志田・役場内研修室

開催日 月2回



手芸

キルト♥ママ

講師：山下 公喜子さん

カタチになると嬉しい！！

開講して30年、現在は約16名の生徒の皆さんと和気あいあい、創作に取り組んでいます。布の端切れでキルトを作り、自分だけのオリジナルが作れます。初めは難しくてもやってみると集中できて面白いですよ♪

場所 ろくじ館 研修室

開催日 毎週月曜日



書道

甲墨会

講師：伊藤 緑石さん

初心者も歓迎！
趣味を持って、楽しむことが大切です。

字を書くと集中できて、心を落ち着かせる時間が持てます。皆さんとおしゃべりするのも楽しく、教室を通じて出会いの場になっています♪

場所 ろくじ館研修室

開催日 第2.3.4週の金曜日



音楽

甲佐グリーンハーモニー

代表：甲斐 道彦さん 指揮者：左座 守さん

今年の12月、結成 30周年の
記念コンサートを開催します！！

日本のポップスなど、歌詞の理解を深めながら年に数回行われるコンサートに向け、練習を重ねています。綺麗なハーモニーが響く教栄寺のお堂はなんとも心地が良いです。敷居は低いのでどなたでも、ご参加ください♪

場所 教栄寺会館

開催日 月2回



絵画

甲佐絵画クラブ

代表：緒方 廣人さん

心を落ち着かせ、
無心で描く時間は良いものですよ。

昭和54年に発足し、現在は町外からの部員含め、10名で活動しています。年に一度のグループ展やその他展示会に向け、皆それぞれ自宅やアトリエで作品に取り組んでいます。モチーフの形をとらえ、自分なりの彩色で絵を描く、やり方は自分次第です。もちろん初心者も大歓迎です！

場所 それぞれのご自宅など





▲松尾代表取締役（左）に感謝状を手渡す甲斐町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

9月4日（水）町本庁舎で、本町へ寄附いただいた飯塚電機工業株式会社（熊本市・松尾修一代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からの寄附は昨年度に続き2回目。寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲玉入れを楽しむ龍野小の児童たち

優勝目指して全力で楽しむ 令和6年度龍野小学校運動会

10月5日（土）町内の各小学校で運動会が行われました。龍野小学校（山下清孝校長）では、児童125人が赤白2団に分かれ「全力・協力・優笑 挑め・自分史上最高の笑顔」のスローガンのもと、徒競走やリレーなどの競技に全力で挑みました。応援合戦や組体操などの団体種目では、練習の成果を発揮した児童に、保護者や地域の方から大きな拍手が送られました。



▲蚤の市の来場者などに支援を呼びかける甲佐中学校の生徒

甲佐中高生が支援を呼びかける 被災地や小児がん患者のための募金活動を実施

10月6日（日）町総合保健福祉センター前で、甲佐中学校、甲佐高校の生徒らがレモネード募金活動を実施しました。午前は甲佐中学校、午後は甲佐高校の生徒が手分けして能登半島豪雨災害の被災地支援と、小児がん患者支援のための募金活動を行い、甲佐ライオンズクラブと一緒に、甲佐蚤の市の来場者などに向けて支援を呼びかけました。



▲鎌を使って収穫作業を行う子どもたち

子どもたちが実りの秋を収穫 乙女小まつやま塾稲刈り体験

10月9日（水）乙女小まつやま塾で、稲刈り体験が行われました。参加した子どもたちは、同塾が管理している田んぼで、地域の指導者の協力のもと、稲の刈り方などを教わりながら、収穫作業を行いました。子どもたちは慣れない手つきで鎌を使って稲を刈り取ったり、協力しながら刈り取った稲を干したりする作業などを楽しみました。



▲熊本県代表として出場した上益城クラブの選手たち

上益城クラブが全国大会に出場 第36回全国ママさんバレーボールいそじ大会

9月18日（水）～20日（金）福島県の猪苗代町総合体育館で開催された第36回全国ママさんバレーボールいそじ大会に上益城クラブが出場し、ベスト8の成績を残しました。同大会でプレーした甲佐町の選手は「目標には手が届かなかったが、これからも仲間たちと楽しみながら練習を頑張り、上を目指していきたい」と大会の感想と今後の抱負を話しました。

100歳おめでとうございます 令和6年度100歳到達者に祝い状贈呈

9月30日（月）令和6年度100歳到達者（大正13年4月1日～大正14年3月31日生まれ）に祝い状などが贈呈されました。

今年度の100歳到達者は、瀧川トミエさん（西寒野区）、荒木美枝さん（岩下一区）、村口久子さん（岩下一区）、増浪カズ子さん（緑町区）、佐川朝子さん（下横田区）、緒方操さん（浅井区）、佐藤ミツ子さん（浅井区）、林ミツルさん（浅井区）、松並信さん（浅井区）、坂上アイ子さん（上早川一区）、海讀道子さん（上早川三区）、佐藤チエ子さん（上早川三区）、日隈ケイ子さん（船津区）、立山照子さん（田原区）、岡本タケさん（辺場区）、渡邊タミエさん（吉田区）の16人（行政区順）。

甲斐町長が各100歳到達者を訪問し、到達者の長寿を祝いました。到達者には、内閣総理大臣からの祝い状の伝達と記念品を贈呈。町からも祝い金が贈られました。



▲植木や花苗などの競りを楽しむ参加者たち

絶妙な駆け引きで競りを満喫 植木競り市開所式

10月6日（日）甲佐町グリーンセンターで、今年度の競り市の開所式が行われました。同センターでは、毎年10月から翌年5月までの毎週日曜日に植木の競り市を開催。初競りでは、参加者が駆け引きを行いながら競りを楽しみました。競り市には会員登録すれば誰でも参加でき、新規登録料は2000円。詳細は甲佐町グリーンセンター（☎096-234-0485）まで。



▲甲斐町長から祝い状の伝達を受けるみなさん



間食を上手にとって健康な日々を過ごしましょう

健康のために間食を控えないといけない…と考えられている方も多いのではないのでしょうか。間食は食べ過ぎると病気のリスクを高めますが、上手に食べることで1日の栄養バランスを補い、空腹感を抑えて食べ過ぎを防ぐ効果もあります。今回は、間食を上手にとるためのポイントについてお伝えしたいと思います。

●間食の食材を選ぶポイント

間食には、低カロリーで栄養価が高い食品が適しています。例えば、果物やヨーグルト、全粒穀物（オーツ麦など）を使ったお菓子です。これらの食品は、ビタミンやミネラル、食物繊維を含んでおり、血糖値も上がりづらいため、間食におすすめです。

●お菓子を選ぶ時のポイント

スナック菓子や甘いお菓子などを食べたい時もあると思います。その場合は、食品のパッケージに記載してある、栄養成分表示のカロリーを確認しましょう。1日に200キロカロリー以内を目安



に選び、それ以上カロリーを取る場合は、少し運動を取り入れるなどしてバランスをとると太りづらいです。

〈200キロカロリーの間食例〉

クッキー 4 枚・ドーナツ 1 個・ポテトチップス 2/3 袋・チョコレート 8 粒（いずれか 1 つ）

●間食のおきかえで減少する体脂肪量（60日おきかえた場合）

〈おきかえ前〉	〈おきかえ後〉	〈減少する体脂肪量〉
甘いカフェオレ	→ コーヒー（無糖）	▶1.1kg
炭酸飲料	→ 炭酸水（無糖）	▶1.9kg
ドーナツ 1 個	→ バナナ 1 本	▶1.4kg

●食べるタイミングのポイント

食べるタイミングも重要です。おすすめの時間は、体脂肪が体に蓄積しにくいとされる午後 3 時です。また、家事や運動の前に食べると筋肉でエネルギーとして使われるため、間食をとるタイミングにおすすめです。

ポイントを意識して間食を上手にとって味方にすることで、健康な日々を過ごしましょう。

●お問い合わせ先

町健康推進課
(町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8711

甲佐町フィットネスセンター

フィットネスセンターで特典ゲット！ 健診結果をお持ちください

甲佐町フィットネスセンターでは、今年度の健康診断を受診された方を対象に、健康ポイント事業を実施します。

今月の講師



那須 賢志さん
(健康運動指導士)

健康診断の結果を見て、結果が気になる方、運動不足を感じている方、必見です！健康診断の結果を

お持ちのうえ、フィットネスセンターにご来館いただくと、特典として陽気カードに 5 ポイント付与、さらに次回利用できるフィットネスセンターの無料体験券をプレゼントいたします。この機会に、健康診断の結果を活かして、一緒に健康な体を目指しましょう！

●実施期間

令和 7 年 3 月 30 日（日）まで

令和 6 年度甲佐町フィットネスセンター健康ポイント事業
今年度健康診断を受診された方へ！
健診結果で健康アップ！
フィットネスセンターでポイントを貯めよう！

実施期間 令和 6 年 10 月 15 日（火）～令和 7 年 3 月 30 日（日）

【今年度の健康診断結果表をご持参いただくと！】
特典①：陽気カードに 5 ポイント付与。(通常は 1 回 / 1 P)
特典②：フィットネスセンター 1 回無料券をプレゼント。
※専門スタッフが目標に合わせた健康づくりをサポートします。

《今年度甲佐町住民健診》
□特定健診 □若者(わっかもん)健診 □後期高齢者健診 □がん検診
※健康診断・人間ドック・企業健診の診断結果表でも構いません。

《問い合わせ先》 甲佐町フィットネスセンター 住所: 甲佐町大字内 619
連絡先: 096-235-8712 甲佐町総合保健福祉センター 総務課(内)

▲健康診断の結果をお持ちのうえ、
町フィットネスセンターにお越しください

●お問い合わせ先

甲佐町フィットネスセンター
(町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8712

スマイル

わが家の「笑顔」を紹介します

赤ちゃんの笑顔 募集中！

未就学児のお子さんの
笑顔を広報紙に掲載しま
せんか？応募期限は
毎月7日まで。
ご応募お待ち
しています▶



■お問い合わせ先
町企画課
☎096-234-1115



かずは
古閑 万葉 ちゃん（3歳）

父・信介 さん

母・万莉 さん（上豊内区）

3歳になったよ☆ニャースと
カレーパンマンがだいすき！

11月・12月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

11月21日（木） 午前9時

12月19日（木） 午前9時

+ 7か月児健診

11月21日（木） 午前10時

12月19日（木） 午前10時

+ ピカピカ1歳教室

12月13日（金） 午前9時20分

+ 1歳6か月児健診

11月12日（火） 午後1時

+ すくすく2歳児子育て相談

12月20日（金） 午前9時20分

+ 3歳児健診

11月12日（火） 午後1時10分

※健診などの日時は変更となる場合があります。対象の方に
個別にお送りする通知を必ずご確認ください。

● 11月の子育て支援カレンダー

● 甲佐町子育て支援センター（竜野保育園内） ☎096-234-0305

1日（金）	身体測定（身長・体重）
6日（水）	ねじブロック遊び
8日（金）	お散歩
11日（月）	園庭遊び
13日（水）	パズル遊び
15日（金）	おやつ作り（要予約）
18日（月）	親子で読書
20日（水）	小麦粉粘土遊び
22日（金）	砂場遊び
25日（月）	お絵描き
27日（水）	製作
29日（金）	鯉を見に行こう

育児相談（電話・面接） 月～金曜日 午前9時30分～午後4時

体験保育 月・水・金曜日 午前9時30分～正午

● 休日当番医

月 日	当番医	電話番号
11月3日	谷 田 病 院	096-234-1248
11月10日	荒 瀬 病 院	096-234-1161
11月17日	谷 田 病 院	096-234-1248
11月24日	桃 崎 整 形 外 科	096-235-8111

● 日程は変更になる場合があります。最新情報は町公式ウェブサイトなどをご確認ください



▲動物愛護週間コーナーにぜひお越しください

「スポーツの秋」特集コーナー
身体を動かすのに気持ちの良い気候となりました。今月は「スポーツの秋特集コーナー」を作り、紹介しています。児童書は人気のサッカー・野球・バスケットボールなどの入門書、一般書はマラソンや水泳の基礎、無理なく続けられるスト



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



- 日時 11月14日(木) 午前10時30分～
- 会場 おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター図書室内)
- 0歳児からのおはなし会について
図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。
- レッチや筋力トレーニング、トップアスリートの自叙伝、スポーツのための栄養学・レシピ集などを紹介しています。心と体の健康のため、自分のペースで好きなスポーツを楽しみましょう。ぜひ、ご利用ください。

新着図書紹介

小説



地面師たち ファイナル・ベッツ
新庄 耕 著/集英社

海外のカジノで全財産を失った元Jリーガーの稲田は、大物地面師・ハリソン山中から北海道の不動産詐欺計画に誘われる。一方、警視庁捜査二課のサクラは逃亡中のハリソン山中の行方を追い…。圧倒的なリアリティーで描くクライムノベル。



わたしの知る花
町田 そのこ 著/中央公論新社

犯罪者だと噂されていた老人が、孤独死した。部屋に残っていたのは、彼が手ずから咲かせた綺麗な「花」。生前、知り合っていた女子高生・安珠は、彼のことを調べるうちに、意外な過去を知る…。切なくも温かい、心に沁みる一冊。



フェイク・マッスル
日野 瑛太郎 著/講談社

たった3カ月のトレーニングで、人気アイドル大峰颯太がボディビル大会で上位入賞した。SNSでは「偽りの筋肉だ」と炎上してしまう。新人記者・松村はトレーニングジムに潜入取材を命じられ…。第70回江戸川乱歩賞受賞作品。

一般書



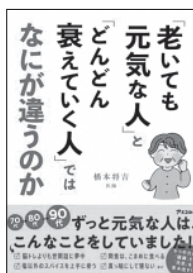
定年ランニング
中野ジェームズ修一 著/徳間書店

50代半ばから65歳以降のシニア世代が、「初めて走る」「久しぶりに走る」ための手引きとなる本。長く健康的に走り続けるために、走りだす前の準備からレースへの挑戦までを、カリスマ・フィジカルトレーナーがQ&A形式で解説。



深掘り! IT時事ニュース
三上 洋 著/技術評論社

SNSはなぜ炎上する? 生成AIってなにが問題? ビジネスがDXで変わる? 「なんだかよくわからない、ついていけない」と感じている人へ、テレビ番組で年間300本のニュースをサポートする著者が、IT時事ニュースを深掘り解説。



「老いても元気な人」と「どんどん衰えていく人」ではなにが違うのか 橋本将吉 著/アスコム
年をとって病気がちでいつもしんどそうな人と、毎日を元気に楽しそうに過ごす人。この「健康格差」はどうして起こるのか? 高齢者クリニックの院長が、残りの人生を健康に過ごせる体になる方法を基本からわかりやすく解説。

町公民館では、町民の生活にあった教育や学術および文化について各種講座等を行うことにより、より楽しく生きがいのある生活を送れるよう応援するために、公民館主催講座を実施しています。その一つに、地区の公民館や集会所に講師と共に出向き、様々な講座を実施する出前講座があります。

この出前講座のメニューの中に「文化財について」があります。これは町文化財保護委員が町の文化財や区の歴史などについて講義するものです。

町文化財保護委員は、町内文化財の調査や発見に基づき、文化財の保存や活用に尽力されておられます。

9月3日（火）には中山区公民館で、北里義友文化財保護委員が「中山歴史探訪」と題して区の歴史や文化財について話しました。講座には12名が参加し、参加者からは「あらためて地元の歴史や文化財についての話を聞いて、とてもためになった」との感想がありました。また、地元の方からお祭りや地蔵について講師

が教わる場面もあり、地元の文化財への理解が深まりました。

「文化財について」はこれまでに中横田区や仁田子区、船津区でも実施しております。要望があれば、町や区の文化財や歴史について、町文化財保護委員が伺いますので、出前講座を企画する際にはぜひご検討ください。



公民館出前講座の様子

お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447（内線324）

人権、心豊かに暮らすために

互いの人権を尊重して差別のない社会を考える

令和6年度「上益城地区社会人権教育研究会」を開催

9月24日（火）御船町カルチャーセンターで「上益城地区社会人権教育研究会」が開催され、郡内の企業関係者・教職員・住民・行政職員などが参加しました。

集会では、益城町が「基調提案」を、嘉島町が「嘉島町の取組み」について特別報告を実施しました。その後「サラーマツトゝあなたの言葉で」が上映されました。この映画では、「SNS時代における外国人の人権」について描いています。主人公の珠美は、異なる文化や考え方を持つミランダとの交流を通して「違い」は「壁」ではなく自分自身を成長させ、地域を豊かにすることに気づいていきます。私たちを取りまく環境は常に変化しています。何気ない発言や行動の中には、人を傷つける「可能性」があることを常に心に留めて置いておく必要があります。

また、講演会では、講師の吉田文男さんが「来民開拓団の『真相』に学ぶ」と題し講演。来民開拓団と他の開

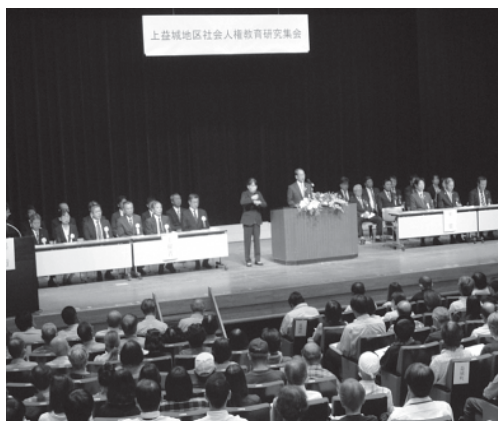
拓団の違いを話されました。来民開拓団の本質は部落差別であったこと、子どもたちを差別から守るためだったことなど詳しく説明されました。最後に「差別をなくすためにはどうすればいいか、差別される人が一人もいないようにするのはなく、差別する人が一人もいないようにすること」と話されました。

この研究会で、ひとり一人が互いの人権を尊重する態度や行動について改めて考える良い機会となりました。

●お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447



▲部落差別問題について考える参加者ら

甲佐のまちづくり



▲地鎮祭であいさつを述べる甲斐高士町長

商店街の賑わいを創出する 企業応援施設を整備

■商店街を中心とした新たな拠点整備でまちの活性化を図る

町では、起業を目指す事業者を支援するための、甲佐町スタートアップ企業等応援施設（仮称）の建設を進めています。町の中心地となる商店街に、これから起業を考えるスタートアップ等事業者向けの貸しスペースおよび町民の皆さんが使えるオープンスペースなどを整備し、入居企業や、地元住民、商工会などが一体となり、賑わいを創出することで、町の活性化を促進します。

ます。

■令和6年11月中旬から施工開始

10月16日（水）岩下地区で甲佐町スタートアップ企業等応援施設（仮称）建設工事の地鎮祭が執り行われ、甲斐町長をはじめ、施工者などが参列し、工事の安全を祈願しました。

この新施設は、11月中旬から工事着手、令和7年3月の完成を予定しており、施設の運用開始は令和7年4月以降を予定しています。

多くの人が訪れる場所に

入居企業はもちろん、地元企業、地域住民の方々が気軽に使用できる施設となるよう、商工会など関係機関のみなさまのご協力をいただきながら、整備を進めていきます。



甲斐 敬大 係長
町地域振興課

魅力発信！甲佐高校通信 vol. 20

県立甲佐高校（甲佐町横田 327） ☎ 096-234-0041

甲佐高校生がインターンシップを行い 今後の学校生活や進路活動に生かす

9月10日（火）～12日（木）甲佐高校の2年生22人が町内外の各施設でインターンシップ（職業体験）を行いました。

インターンシップは、生徒たち在地域の職場で実際に働き、学ぶことをとおして、勤労観・職業観の育成を図るとともに、自己の進路目標に役立たせる目的で同高（田中康一郎校長）が実施。

生徒たちは谷田病院、若草保育園、JA上益城、肥後銀行甲佐支店、肥後そう川、甲佐町役場などの18の事業所でインターンシップを行い、働くことの大切さや、やりがい、社会

人としてのマナーなどを学びました。

参加した生徒は「たくさんの方の業務を体験でき、三大業務についてもしっかり学ぶことができました。特に、綿上げで実際にお金の計算をしたことが心に残っています。今回学んだことを今後の学校生活で生かし、資格取得を頑張りたいと思っています」。

「インターンシップを通して職場での姿勢や礼儀、人との関わりについて学び、自習している中で学びがあったらそれを次に生かすためにメモを取り、これからの進路の決定に生かしていこうと思いました」などの感想がありました。



▲インターンシップで肥後銀行甲佐支店を訪れた生徒（上）と若草保育園を訪れた生徒（下）

甲佐高校ホームページでも
高校ライフを発信中です▶



R6.11 甲佐町イベントカレンダー



詳細はウェブサイト
でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
10/27	10/28 口座振替日 (町税務課)	10/29	10/30	10/31 納期限 夜間窓口 (町税務課) 消費生活相談 (老人いこいの家)	1 行政区配達 (町総務課)	2
3 功労者表彰式 (町総務課)	4 町駅伝大会 (町社会教育課)	5 法律・人権・行政相談 (町福祉課)	6 マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	7 消費生活相談 (老人いこいの家)	8 幼年消防クラブ 防火パレード (町総務課)	9 甲佐町消防団 非常呼集訓練 (町総務課)
10 産業文化祭 (町農政課) 防火啓発パレード (町総務課)	11	12 1歳半・3歳児健診 (町健康推進課)	13	14 消費生活相談 (老人いこいの家)	15 行政区配達 (町総務課)	16
17 甲佐町総合防災訓練 (町くらし安全推進室)	18 心配ごと相談 (町福祉課)	19	20 認知症についての 相談会と家族のつどい (町福祉課) マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	21 消費生活相談 (老人いこいの家) 4ヶ月・7ヶ月児健診 (町健康推進課)	22	23 役場庁舎停電検査 (休日窓口の一部 業務停止、図書 室はお休み)
24	25	26	27	28 口座振替日 (町税務課) 消費生活相談 (老人いこいの家)	29	30

※ やむを得ず中止・延期になる場合があります。

保険証の仕組みが変更されます

■「マイナ保険証」の原則化と「資格確認書」の導入について

令和6年12月2日以降、国民健康保険では、現行の保険証の新たな発行を終了し、保険医療機関の受診は原則マイナ保険証を使用することになります。なお、保険証の仕組みが変更されても、これまでと同じように、安心して保険医療機関を受診できます。

●現行の保険証は有効期限まで使用できます

現在お持ちの保険証は、他の保険への異動などがなければ、保険証に記載されている有効期限まで使用できますので、12月2日以降も、マイナ保険証をお持ちでない人は、その保険証で保険医療機関を受診することができます（マイナ保険証をお持ちの人も、有効期限までは町が発行した保険証を使用して保険医療機関を受診することができます）。

●マイナ保険証を持っていない人には「資格確認書」を交付します

マイナ保険証を持っていない人には、現在お持ちの保険証の有効期限が到来する前に、今までの保険証と同様に無償で申請の必要なく「資格確認書」が

町から交付されますので、その資格確認書を使用して今までと同じように保険医療機関を受診することができます。

●マイナ保険証の登録について

マイナ保険証には、「データに基づくより良い医療が受けられること」、「手続きなしで高額療養費の限度額を超える支払いが免除されること」などのメリットがあります。

登録に興味のある人は、町ホームページからご確認ください。

なお、マイナンバーカードをお持ちの人は、次の方法で簡単にマイナンバーカードを保険証として登録できます（①②③は暗証番号が必要です）。

- ① 住民生活課窓口から申請
- ② セブン銀行ATMから申請
- ③ マイナポータルから申請
- ④ 医療機関などにある顔認証付きカードリーダーから申請

【お問い合わせ先】

町住民生活課

☎ 096・234・1113

マイナンバー制度やマイナ保険証全般に関すること

マイナンバー総合フリーダイヤル

☎ 0120・95・0178

第17回熊本県南合同公売会を開催します

甲佐町では、熊本県、上天草市、天草市、宇城市、水俣市、嘉島町、美里町、御船町、山都町と共同で差押財産の公売会を開催します。

●開催場所・日時

上天草市松島総合運動公園 松島総合センター 「アロマ」

（住所：上天草市松島町合津4276番地44）

11月16日（土）午前8時30分開場 入札：午前9時40分から午前10時

開札：午前10時予定 代金納付期限：正午予定

●必要な物

購入代金（現金）、身分証明書（免許証など）

●公売会での注意事項

- ・未成年者（満18歳未満）の場合は、保護者の同意書が必要です。また、代理人の場合は委任状が必要になります。詳しくは、町税務課までお尋ねください。
- ・出品物は全て中古品扱いとし、保証はありません。また、落札後はいかなる理由があっても返品・返却はできません。
- ・当日までに見積価格の変更、滞納税の完納などにより、出品物の公売を中止する場合があります。
- ・出品物を落札された場合、当日の引渡しとなります。出品物は買受代金納付時の状態で引渡しますので、品質などに関する不適合について責任を負いません。

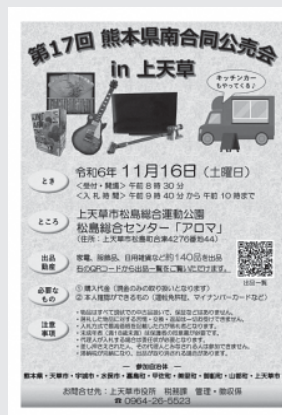
詳細は町公式ウェブサイトをご覧ください▶



【お問い合わせ先】

町税務課

☎ 096-234-1112



国民年金保険料の産前産後期間の免除制度について

国民年金第1号被保険者が出産される際は、出産予定日または出産日が属する月の前月から4カ月間（以下「産前産後期間」という）の国民年金保険料が、申請により免除されます。産前産後期間と認められた場合は、年金額を計算する際に保険料を納めた期間として扱われます。多胎妊娠の場合は出産予定日または出産日が属する月の3カ月前から6カ月間の国民年金保険料が免除されます。

※出産とは、妊娠85日（4カ月）以上の出産をいい（死産、流産、早産の場合を含みます）。

▼申請方法

申請書類は、年金事務所または町住民生活課窓口で配布しています。出産予定日の6カ月前から提出可能です。

▼申請に必要な書類

●出産前に申請する場合

母子健康手帳など出産予定日および胎児数が確認できるもの

●出産後に申請する場合

町で出産日などが確認できる人は申請不要です。（被保険者と子が別世帯である場合を除く）

●死産などにより申請する場合

死胎埋火葬許可証や医師などが作成した死産証明書など分娩日および胎児数が確認できるもの

■11月は「ねんきん月間」、11月30日は「年金の日」

日本年金機構は、11月を「ねんきん月間」と位置づけ、公的年金制度の普及・啓発活動に取り組みます。また、11月30日は「年金の日」として制定されており、皆さんに「ねんきんネット」などを活用してご自身の年金記録や公的年金の受給見込み額を確認していただき、高齢期の生活設計に役立てていただくことを目的にしています。

●ねんきん月間、年金の日の活動内容

「ねんきん月間」の期間中は、年金事務所職員などによる出張年金相談や年金セミナーなどを行います。また、年金について知りたいことが探せるポータルサイトの開設や、「わたしとみんなの年金ポータル」のLINE公式アカウントも開設されています。

【お問い合わせ先】

町住民生活課

☎096・234・1113

熊本東年金事務所

☎096・367・8144

住宅地開発および賃貸住宅建設を支援します

町では、移住・定住者の増加につながる住宅建設地の確保および賃貸住宅の増加による定住化促進を目的として、新たに住宅地開発を行う事業者や、町内に民間賃貸住宅を建設する人に対して、予算の範囲内で支援します。

■住宅地開発の補助について

●補助限度額：1区画あたり100万円

●主な条件

- ・5区画以上の住宅地開発であること
 - ・甲佐町住宅地開発行為指導要綱を遵守していること
 - ・宅地1区画あたりの面積が230㎡以上であること
 - ・開発区域内の道路幅員は原則6メートル以上であること
 - ・開発区域内の道路は開発区域外の町道以上の道路に接続していること
 - ・事業者は原則として建築協定を結ぶこと
- ※その他の条件についてはお問い合わせください。
※開発行為を行う前に開発指導要綱に基づく協議が必要です。

■賃貸住宅建設の補助について

●補助限度額：2LDK（55㎡以上）250万円/戸
3LDK（65㎡以上）300万円/戸

●補助対象者

町内に新たに賃貸住宅を建設し、所有者となる法人の代表者または個人

※2親等までの親族が入居する場合は対象外です。

●対象となる賃貸住宅

一戸建ての住宅・長屋・共同住宅・店舗併用共同住宅のような複合住宅

※個人もしくは法人との賃貸借契約の締結により入居される住宅

※建築確認申請を行う前に認定確認の申し込みが必要です。

【お問い合わせ先】町地域振興課 ☎096-234-1154

くらしの情報

LOCAL NEWS &
LOCAL INFORMATION

❖ イベント等の開催に関する詳細は
各問い合わせ先にご確認ください

お知らせ

通常収集しない
ごみの収集について

● 出せるもの（一般家庭のもの）

タイヤ、バイク、ボイラー、バッ
テリー、風呂おけ、ガラス戸、アル
ミサッシ、家電6品目など

※運搬費用は町が負担しますが、処
理費用は個人負担です。家電6品
目は、運搬費用、処理費用、郵便
振込手数料が個人負担です。

● 出せないもの

中身の残った「ペンキ缶、オイル
缶」、プロパンガスボンベ、農薬、
消火器、パソコン、プリンタ、水銀
やアスベストを含むものなど
※処理の方法は、購入先などにお問
い合わせください。

▼ 開設日時

12月8日（日） 午前8時30分～

お問い合わせ先一覧

- ❖ 甲佐町役場
096-234-1111（代表）
- ❖ 甲佐町保健福祉センター
096-235-8711
- ❖ 甲佐町教育委員会
（町生涯学習センター）
096-234-2447
- ❖ 水道管理センター
096-234-0755
- ❖ 町民センター
096-234-2459
- ❖ 老人憩いの家
（（社）甲佐町社会福祉協議会）
096-234-0423
- ❖ 御船町甲佐町衛生施設組合
（クリーンセンター）
096-282-0688
- ❖ 上益城消防署
096-282-1955
- ❖ 御船警察署
096-282-1110
- ❖ 上益城広域連合
096-237-2891
- ❖ 県上益城地域振興局
096-282-2111（代表）
- ❖ 県御船保健所
096-282-0016
- ❖ 県庁
096-383-1111（代表）

午前11時

▼ 開設場所

安津橋健康広場グラウンドゴルフ
場横ヘリポート

▼ お問い合わせ先

町環境衛生課

☎ 096・234・1169

令和7年度保育所入所の 申し込みを受け付けます

令和7年4月から令和8年3月に
新規で保育所へ入所を希望する人は、
申し込みが必要となります。

希望者が多い場合は、希望する保
育所に入所できないことがあります。

▼ 申込受付期間

11月25日（月）～11月29日（金）
午前9時～午後4時

▼ 入所基準

本町に在住で、次のいずれかに該
当すること

・就労または就労予定

・妊娠、出産

・保護者の疾病、障がい

・同居または、長期入院などしてい
る親族の介護・看護

・災害復旧作業に従事

・就学（職業訓練校などの就業訓練
を含みます）

▼ 申込書の配布場所

・町福祉課

・各保育所（甲佐・若草・竜野・乙
女・緑川）

※申込書は、町公式ウェブサイトか
らダウンロードできます。

▼ 申込・お問い合わせ先

町福祉課

☎ 096・234・1114

（内線148）

11月は「オレンジリボン・児童 虐待防止推進キャンペーン期間」

11月は、「オレンジリボン・児童虐
待防止推進キャンペーン期間」です。

待防止推進キャンペーン期間」です。

こども家庭庁は、毎年11月に「オ
レンジリボン・児童虐待防止推進
キャンペーン」を実施し、家庭や学
校、地域などの社会全体に児童虐待
問題への深い関心と理解を得ること
ができるよう、期間中に集中的な広
報・啓発活動を実施します。また、
児童虐待防止推進の取り組みとして、
全国フォーラムも開催されます。

児童虐待には、なぐる・蹴ると
いった身体的虐待、子どもへの性的
行為などの性的虐待、乳幼児を残し
て外出するなどのネグレクト、子ど
もの目の前で家族に対して暴力をふ
るなどの心理的虐待があります。

虐待を受けたと思われる子どもがい
たり、ご自身が出産や子育てに悩ん
だりしたら、児童相談所や町の窓口
へご連絡・相談ください。

▼ お問い合わせ先

・町福祉課

☎ 096・234・1114

・町福祉課

・町福祉課

☎ 096・234・1114

・児童相談所全国共通3桁ダイヤル
☎189（いちばやく）

「県立高等学校あり方検討会」
意見交換会の参加者を募集

県立高等学校あり方検討会（事務局熊本県教育委員会）では、熊本県立高等学校のあり方について話し合う「意見交換会」の参加者を募集します。詳しくは、熊本県高校教育課にお問い合わせください。

▼募集期限

11月23日（土）

▼内容

- ①県立高校の現状説明
- ②意見交換会

今後の参考にするため、規模や配置の考え方、定員割れ対策、通学区域の考え方などに関して、地域の実情や地域の方々の意見を伺います。

▼開催日時

11月26日（火）午後6時から

▼会場

町生涯学習センター「輝」ホール

▼その他

検討会には、一般の希望者以外に地元小中学校、町役場、甲佐高校の関係者も参加されます。

▼申し込み方法

申し込みフォーム（<https://forms.office.com/r/7Z0cUQFOAc>）、または次

のQRコードからお申し込みいただけます。

▼お問い合わせ先

熊本県高校教育課 高校魅力化推進室

☎096・3333・2684



水道料金の基本料金を
免除します

町では、物価高騰の影響を受ける町民や事業者の経済的負担を軽減するために、上水道および簡易水道組合等の使用者（公共用を除く）に対して水道料金の一部を免除します。

▼期間

令和6年11月検針分～令和7年2月検針分までの4か月間

▼免除額

上水道：毎月の料金のうち基本料金額
簡易水道組合等：組合負担金等の一部
※詳細は、町公式ウェブサイトをご覧ください。

▼お問い合わせ先

町環境衛生課

☎096・2334・0755



必ずチェック！
最低賃金

熊本県の最低賃金が令和6年10月

5日（土）から時間額952円に改定されました。

この最低賃金は、県内すべての事業所、労働者に適用されます。

詳細は、熊本労働局労働基準部賃金室または最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

▼お問い合わせ先

熊本労働局労働基準部賃金室

☎096・3555・3202

「上益城消防フェア2024」
を開催します

防火・防災意識の高揚と消防に対する理解と協力を深めるため、「上益城消防フェア2024」を開催します。大人も子ども楽しめる内容になっています。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

▼開催日時

11月9日（土）午前10時～午後1時（小雨決行）

▼開催場所

イオンモール熊本 イーストスクエア・セントラルコート（嘉島町大字上島字長池2232番地）

▼入場料

無料

▼お問い合わせ先

上益城消防組合消防本部

☎096・2822・1969

traffic safety

事件・事故件数

種 別	発生件数	
	9月	年累計
人身事故	1	6
物損事故	15	142
盗難など	1	8

9月30日現在

fire prevention

出動火災件数

種 別	発生件数	前年比較
家 屋	3	0
原 野	14	+ 4
そ の 他	14	+ 2
合計件数	31	+ 6

10月15日現在

tax

町税などの滞納処分（9月分）

種 別	件数・金額など
捜 索	0件
差し押さえ件数	4件
公 売 回 数	0回
公 売 件 数	0件
滞納処分関連収入	669,867円

おしらせ

あなたを守る！ 消費生活相談

上益城広域連携消費生活相談室は、月曜から金曜まで、県消費生活センターと同様に、インターネット、クレジットなどの契約問題、商品・サービス購入問題、悪質商法など、消費生活トラブルの解決に向けて、消費生活相談員が無料相談を受け付けています。左記のすべての町で相談できますので、お気軽にご相談ください。

日時

午前9時～午後4時

◎益城町 ☎096・286・3210

◎御船町 ☎096・282・1226

◎嘉島町 ☎096・237・1112

◎甲佐町 ☎096・234・3223

◎山都町 ☎0967・72・3133

お問い合わせ先

町福祉課

☎096・234・1114

11月9日(土)～15日(金) 全国火災予防運動

秋季全国開催予防運動が、11月9日(土)～15日(金)の期間に実施されます。

火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させることなどを目的として毎年実施されています。

お問い合わせ先

上益城消防本部

☎096・282・1963

募集

令和6年度陸上自衛隊高等工 科学校生徒を募集します

自衛隊熊本地方協力本部では、陸上自衛隊高等工科学校生徒を募集しています。詳細は、宇城募集案内所にお尋ねください。

応募資格

男子で中卒(見込含) 15歳以上17

歳未満の者

受付期限

令和7年1月16日(木)

一次試験日

令和7年1月25日(土)・26日(日)

のいずれか1日

二次試験日

令和7年2月15日(土)

お問い合わせ先

宇城募集案内所

☎0964・23・2047

消費者トラブル注意報！

その申し込み、定期購入ではありませんか？

インターネットなどで低価格を強調する広告を見て、1回だけでもしくは単品のつもりで注文したら、「定期購入」だったという事例や相談が多く寄せられています。

●事例

- ・ポイントサイトの広告を見て申し込んだ品物が定期購入で、初回で解約をするには差額の支払いが必要と言われた
- ・SNSの広告を見て購入する際、1回限りと確認し購入したにもかかわらず、4回の受け取りが条件の定期購入になっていた

●消費者へのアドバイス

- ①申込み前に「最終確認画面」をしっかりと最後まで確認し、画面をスクリーンショットで保存しましょう
- ②解約の際の連絡手段や、解約・返品の内容を確認しましょう
- ③お届け予定日や利用規約の内容をしっかりと確認しましょう

※困ったときは一人で悩まず、家族や消費生活相談室に相談しましょう。

【お問い合わせ先】

・町福祉課 ☎096-234-1114 ・消費生活相談室(甲佐会場：毎週木曜) ☎096-234-3223

おしらせ

山火事にご用心！

秋から冬にかけて空気が乾燥し、森林内の落葉などが燃えやすい状態になっており、山火事発生危険性が高くなります。

山火事の原因の多くが、人のちょっとした火の取扱いの不注意で発生しています。一人一人が森林の大切さを認識し、防災意識を高めましょう。

お問い合わせ先

町農政課

☎ 096-234-1176

(内線157)

道路に張り出している木の伐採にご協力を

道路や歩道への枝の張り出しなどにより、歩行者などに損害が発生してしまった場合、樹木所有者の管理責任を問われることがあります。

道路沿いで樹木を所有している人は点検を実施し、危険な場合は伐採するなどの措置を講じてください。

お問い合わせ先

県道路保全課

☎ 096-333-2495

ふるさと納税の対象となる地方団体に指定されました

甲佐町は、令和6年10月1日から令和7年9月30日までの期間、総務省からふるさと納税の対象となる地方団体に指定されました。

お問い合わせ先

町地域振興課

☎ 096-234-1154

(内線232)

くらし安全

SNSを利用した投資やロマンス詐欺に注意！

SNSを悪用した投資詐欺、ロマンス詐欺の被害が増加しています。これらの詐欺は非常に巧妙で、1件当たりの被害額が高額になる場合が多いのが特徴です。実際に会ったことがない人からお金の話をされたり、振込先の口座が個人名義になっている場合などは要注意です。しっかりと手口を理解し、詐欺の被害から自分と周りの人を守りましょう。

お問い合わせ先

御船地区防犯協会連合会

☎ 096-282-1110

(内線261・265)

甲佐のイベント情報

熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会が開催

12月1日(日)第49回熊本甲佐10マイルロードレース大会が開催されます。

同レースは有力実業団からトップランナーが多数出場する日本有数の10マイルレースで、冬の甲佐で競技者たちがデッドヒートを繰り広げます。

●種目(スタート時間)

- ・中学男子5^{キロ}の部(午前10時30分)
- ・女子5^{キロ}の部(午前10時35分)
- ・国際、一般競技者10マイルの部(午前11時20分)
- ・高校男子、一般競技者10^{キロ}の部(午前11時25分)

※大会情報は、随時更新します。

詳細は町公式ウェブサイトをご覧ください。▶



■お問い合わせ先

町社会教育課 ☎ 096-234-2447 (内線 323)

甲佐のイベント情報

甲佐町産業文化祭が開催

11月10日(日)第39回甲佐町産業文化祭が開催されます。

役場南側駐車場では、10を超える出店やニラ飛ばしなどを開催。生涯学習センターでは、甲佐町文化協会のステージ発表や作品展示を行います。出店で200円以上お買い上げの人には、大抽選会の券やおにぎり・みかん(エコバック付・先着600人)の特典も！ぜひお越しください。

●開催日時・場所

11月10日(日)午前9時～午後3時50分

甲佐町役場一帯

※詳細は町公式ウェブサイトをご覧ください。▶



■お問い合わせ先

町農政課 ☎ 096-234-1176 (内線 154)

literary work

うたごよみ ～霜月～

〔短歌〕

一人去り二人去りして公園は
静まり返る秋の夕ぐれ

赤星 延子

彼岸花十日遅れの満開に

異常気象をあらためて知る

緒方 明美

台風の雨降りやまず不気味なる

サイレン響き放流告げる

岡部 律子

暮れる頃一人になりし吾の為

レシピを添えた秋ナス届く

内田乃武子

老夫婦二人住まいの古民家は

空き家になりて鳶のみ茂る

池田キヨ子

大雨で又瓦礫と化す被災地の

能登の復興遠くなりゆく

吉永由紀子

塚原曉益 選

〔肥後狂句〕

とぼくんな

口にやあんこをひつつけて

北川直美 選
広田みどり

とぼくんな

若っかつもりは続かんぞ

下山 千恵

とぼくんな

クラウンなんてまだ早か

志垣 光

とぼくんな

裏金有れば石川へ

平井やよい

とぼくんな

こぎゃん証拠の揃うても

光永 六

とぼくんな

秘書が出て来て幕となる

井元あざみ

とぼくんな

母に告げ口したくせに

日高 美里

とぼくんな

酒のせいとは言わせんぞ

上田 梅清

とぼくんな

そぎゃんも言えん取調べ

北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447 (内線321)

ひとの動き

9月11日(水)～10月10日(木)届出

お誕生

住 所	氏 名	性別	保護者
麻生原	鳴川美姫羅	女	光 星
芝 原	中村 優	男	祐加子

ご結婚

	住 所	氏 名
夫	益城町	森田 蓮
妻	有 安	白石 星奈
	ほか1組	

お悔やみ

住 所	氏 名	年齢	世帯主
仁田子	立野アサ子	92	アサ子
津志田	堀ヨシ子	85	亨
坂 谷	伊藤 弘巳	83	弘巳
芝 原	中林シズ子	93	シズ子
上早川	野仲ミエ子	96	ミエ子
仁田子	直井 邦子	79	仁志
船 津	日隈ケイ子	100	ケイ子
中横田	宮邊ミヨシ	101	昌美
船 津	仲原マサ子	85	正照
豊 内	松丸 正行	94	ケサヨ
東寒野	井芹 昭憲	94	ヤス子
	ほか6人		

●お詫びと訂正

10月号の2ページ「人のうごき」の総人口に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 9,981 人

(正) 9,989 人

ふるさと甲佐

応援寄附金

▶ご寄附いただいた皆様

お名前	ご住所
・松元 明子様	東京都
・見田 悟様	愛知県
・緒方 正樹様	愛知県
・今西 鉄也様	愛知県
・花田 公一様	福岡県
・平井 健一様	福岡県
・畠山 一洋様	宮城県
	ほか多数

■お問い合わせ

町地域振興課

☎096-234-1154

ふるさと納税の
詳細はこちらを
チェック!▶



Let's make health

甲佐の野菜で作ってみよう!

秋ジャガでタラモサラダ

レシピ提供: 料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



【材料】

ジャガイモ……2個(250g)
たらこ……………1/2腹
マヨネーズ…………大さじ5
おろしニンニク…………少し
塩・コショウ…………少々

【作り方】

- ①ジャガイモはよく洗い皮ごとラップで包み、電子レンジで3分加熱する。そのまま上下をひっくり返しさらに2分～2分半加熱する。
- ②火傷に気を付けながら、熱いうちに皮をむき、ボウルに入れてフォークなどでつぶし、そのまま冷ます。
- ③明太子に切り目を入れて、包丁の背で身をこそげ出し②のじゃがいもと混ぜ合わせ、マヨネーズと塩コショウで味を調えたら出来上がり。

ご存じですか?

秋じゃがいもには多くのビタミンCが含まれていて、感染症予防やストレスから守ってくれる効果があります。

また、女性の大敵であるシミは抗酸化作用のおかげで防いでくれますし老化防止にも一役かってくれています。

ただ問題は水に弱いということです。長時間水に晒したり浸けておくと、大事な栄養が流れ出してしまうため注意が必要です。今回のように電子レンジでの調理は水を使わないので、栄養が流れだす心配はありません。

日暮れるのがすっかり早くなり、木々の色付きに秋の深まりを感じる季節になりました。今月号では、先日開催された甲佐の市についてお伝えしています。歩行者天国となった商店街一帯に並んだ店舗には、レトロな雑貨や古着、かわいいアクセサリーなどさまざまな品物が店棚や路上に所狭しと陳列されていました。多くの家族連れや若者が来場し、活気あふれた1日になり、私も楽しく過ごすことができました。

今月は、もう一つの秋のイベントである産業文化祭が開催されます。今回取材させていただいた方たちの作品展示やステージ発表もありますので、ぜひお越しいただければと思います。

(ゆ)

編集後記



黒岩 恵美さん 伊藤 二實男さん・セイ子さん
Kuroiwa Emi Itou Fumio・Seiko
(左から) [御船町] [岩下一区]

伊藤さんが初版から編集を務める文化協会の機関誌「ふるさと」には、自身のバイタリティ溢れる人生を書き記した「つれづれぐさ」を寄稿している。

不自由でも幸せ 挑戦が人生を切り開いた

「まずこれを読んでください」と差し出されたメモ（※取材に際し、事前に用意してもらったもの）の一行目には、「私が一番の幸せ者です」と記されていた。

まちの習字の先生「緑石先生」こと伊藤二實男さんは、88歳となった現在も、印鑑店や書道教室を営みつつ文化協会の役員を務めるなど多方面で活躍している。

自らを「果報者」と言う伊藤さんは、中学生のころ不慮の事故で聴力を失った。「けれど、いろいろな事にチャレンジするうちに、障がい者であることを気にしなくなりました。『不自由でも幸せ』と感じる出会いをたくさんもらった」と話す。

学生時代から養鶏や樹木栽培などに挑戦してきた伊藤さんは、甲佐町の文化振興を牽引してきた町文化協会の発起人でもある。「当時は若くて情熱もあったから、『ちょっと待って』と思うような場面でも誰も止められなかった」と娘の恵美さんは苦笑する。

大学進学に向け勉強強していたころ、新聞の広告欄で「身体障がい者更生指導所」の募集広告を偶然見つけ、刻印科に入学した。「あのまま大学に行っていたら就職は難しかったと思う。技術を身につけた方が良くだろうと判断した自分は偉かった」と当時の自分を誇らしげに語る。これが、人生の大きな転機となった。

刻印科で篆刻の技術を1年間学んだ伊藤さんは、昭和32年に商店街に印鑑店「緑石堂」を開業する。ほどなくして篆刻に必要なと考え、故村上芳園先生に師事した。主に隷書や篆書を学び、やがて日展に入選するまでの腕前となった。挑戦と努力が実を結び始めた。

書道教室は、子どもたちの親から習字を教えてほしいと頼まれたことが始まり。教室からは、教師や書道家の道を歩む者も育っていった。伊藤さんは「書道を生業にすると思わなかった」と笑う。

スーパーのチラシをチェックし、食料品の買い出しに行くことも楽しみだという。店に久留米餅の商品を置き始めたころから昼食の準備は伊藤さんの担当となっている。好奇心旺盛な伊藤さんにとって料理もまた新たな挑戦なのだろう。

メモには、これまで書道を通じて出会った子どもたちなど多くの人々への感謝の言葉と共に「家内との出会いが私を最も豊かにしてくれた」と書かれている。妻のセイ子さんは、ときに伊藤さんの耳や声となり、共に時代を生き抜いてきた。このことは「二人は大変な苦勞をしてきたと思います」と語る恵美さんの言葉からも伝わってくる。

「これまでやってきたことを極めたい。積み上げてきたものを惜しみなく次世代に伝えたい」と語る伊藤さん。相棒セイ子さんとの二人三脚の挑戦は続く。